

## 子育て世代応援！全国トップレベルの規模へ

# 幼児センター、増改築で来年1月お披露目

幼・保一元化の取り組みをしている町幼児センター「ももんがの家」が、今夏に開所以来初の大幅増改築を行い、保育環境が大きく充実します。完成時には、全国トップレベルの広さ、幼・保一元の充実機能を持つ施設が誕生します。子育て世代の保育応援につながる政策で、若い世代の町内子育て環境が大きく改善します。

現幼児センターの西側に接続して建設する予定です。西側駐車場と直結する形で建設します。

総事業費は2億円超の規模に達し、早ければ7月末ごろ着工、年内完成を目指し、来年1月ごろからの供用開始予定です。

鉄筋コンクリート造り平屋建て延べ約670平方メートル。第2プレイルーム（約180平方メートル）、零歳児保育室（70平方メートル）、1歳児保育室（約100平方メートル）、一時保育室（約50平方メートル）、新設、お母さんたちの集まりなど、多用途に使える会議室（約60平方メートル）、トイレ3カ所（うち1カ所は一般用）、床暖房などを完備しています。

増築棟には独立して玄関も備わるため、開放型の地域拠点子育て施設として利用勝手も良い構造です。内部は2カ所の天窓によって昼光の採光性に配慮し、これまでの木調ト

ンを継承し、落ち着いたインテリアで統一。壁レリーフなども配して芸術性の高いインテリアとする予定です。

新棟の増築に伴って、本棟の使い勝手も向上します。6人増の51人増えた職員数（今年4月から）に対応するため、職員室を拡張。狭かった保健室は、正面玄関横の旧零歳児室を転用して独立部屋を設置することが可能になります。

約1・7畝の敷地には新たに「小さな森」が誕生します。園内東側の築山周辺を中心に、さくらんぼ、どんぐり、くるみなど実のなる木、花の咲く木、針葉樹、広葉樹などを植樹し、緑豊かな遊びの空間が出現します。

南側砂場に併設して、新たに流水砂場も新設し、子供たちが思いっきりかかれんぼや泥んこ遊びができる環境を作る計画です。

幼児センターへの入園を希望するニーズは、年々高まっています。今年4月時比べて18人多い233人（現在定員270人）の受け入れになりました。零歳から2歳児の受け入れが増えています。

増改築で未満児保育室の広さが1・3倍に大きくなるなど保育面積が増にも十分に対応できるスペースを確保できるようになります。特に零歳児から2歳児までの保育環境強化に配慮しているのが特長です。

今回の増築に併せて、町内業者で組織する小岩組共栄会ボランティアの皆さんが、結成30周年記念事業として、エゾヤマザクラ30本の園内記念植樹も計画しているようです。完成時には、これまでも増して四季折々の木々の花々、緑鮮やかな環境が誕生することになりそうです。

幼児センターももんがの家増築計画



センター本棟の左側が増築棟

